

阿部竜之介 『Pepeの視点』 - 復帰しました！

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

November / 12 / 2021 # 104

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『復帰しました！』

[2] Pepeのひとりごと

『おやすみ期間』

[3] おすすめ動画

『【吹奏楽】 トロンボーン協奏曲/関西大学応援団吹奏楽部』

『Vallflickans dans - practice for a future performance』

[4] 演奏のヒント！

『ダブルノトリプル・タンギング』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『復帰しました！』

9月13日に手術を受けて左側半分の甲状腺（喉にあります）を切除して、10月26日のリハーサルからオーケストラに復帰しました（翌日、

27日がもうコンサートでした)。

喉に正面から圧をかけられているような違和感を感じることはまだしばしばあるのですが、今のところ演奏することに支障はなく、気をつけながらも無事に演奏活動ができています。

本当に、今の状況に感謝です。

手術後は、慎重にリハビリを進めていきました。
今も首周りのストレッチなどは続けていかないといけないのですが、ストレッチ自体は手術をやってもやってなくてもしたほうがいいと思うので、これからも日常的に続けていきたいと思っています。

これからも、周りの人に感謝の気持ちを伝える方法の一つとして、一生懸命音楽活動をやっていこうと思っています。
これからもよろしく願いいたします。 :)

[2] Pepeのひとりごと

『おやすみ期間』

9月の定期公演の翌日から入院をして、それから1ヶ月半ほど演奏の現場からお休みをいただいて療養、リハビリをしていました。

このお休み期間、いろいろなことをやりたいと思っていたのですが、案の定、時間が足りない感じでした（笑）。
まだまだやりたいことはあったのですが、できたこともあったし、やり始めることができたこともあったので、それなりにいい感じに過ごせたのではないかなあ、と思っています。

なかなかこのようにまとまった期間お休みをすることもないでしょうから（極力避けたいですし。笑）、いい過ごし方、経験ができたのではないかなあ、と思っています。

さあ、ある意味自分の演奏、音楽活動の第2章となった先月末からですが、今、自分のできることを考えながらやっていくのはもちろん、今やっておくべきことにも目を向けて、毎日を大切に、かつがむしゃらに過ごしていこうと思っています。

[3] おすすめ動画

『【吹奏楽】トロンボーン協奏曲/関西大学応援団吹奏楽部』
<https://www.youtube.com/watch?v=KEqRursDJiQ&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=3>

今月の1つ目の動画は、Tromboneソリストとして世界中を飛び回って活躍している玉木優氏の演奏です。

曲は、G.Jacob作曲の「トロンボーン協奏曲」です。
なかなか実演で（オーケストラや吹奏楽伴奏で）聴くことのない曲だと思います（僕も、初めて吹奏楽伴奏版もあることをこのコンサートで知りました）。
これは、無観客のコンサートの配信の動画です。

カッコいい曲なので、興味を持った人はぜひチャレンジしてみてくださいね！ :)

『Vallflickans dans - practice for a future performance』
<https://www.youtube.com/watch?v=ercsD45bGVA>

2つ目の動画は、スウェーデン放送交響楽団首席トロンボーン、そしてヨーロッパ室内管弦楽団首席トロンボーンのHakan Bjorkman氏の練習風景です。
少し前にもこの曲の練習をしているところを動画に撮ってアップしていました。

上手な人の練習の様子って、いろいろと勉強になったり発見があったりすると思います。

コメント欄に質問があって本人が答えていましたが、ゆっくりなテンポで練習をするときにも、最終的なテンポでダブル・タンギングで吹くところは、そのままダブル・タンギングでゆっくり練習をしています。

これ、とても重要なことだと思いますよ。
ゆっくりなテンポで練習するときシングル・タンギングでしかやっていなかった人は、ぜひこれからはゆっくりなテンポのときにも最終的に演奏するタンギングで練習してみましようね！ ;)

[4] 演奏のヒント！

『ダブル／トリプル・タンギング』

2つ目の動画の紹介のところで書いたことなのですが、曲によってはダブル・タンギングやトリプル・タンギングを使って演奏していると思います。

それ、テンポの速いときだけダブルやトリプルで吹いていませんか？

もしそうだとしたら、これからはゆっくりめのテンポ（シングル・タンギングでも演奏できるテンポ）で練習をするときからダブルで吹くところはダブルで、トリプルで吹くところはトリプルで練習してみましょう。

もし、ゆっくりめのテンポで吹いたときにうまくダブルやトリプルで吹けていないのであれば、きっとそれは速いテンポのときにもうまくは吹けていない状態なのだと思いますよ。

それは、ただ「間に合っている」状態だけで、音がちゃんと出ている状態ではないのだと思われます。

しっかりゆっくりめのテンポのときにもダブル・タンギングやトリプル・タンギングで、すべての音がちゃんとなっている状態で吹けるように練習してみてください。

ダブル・タンギングは「TKTK（TuKuTuKuやTaKaTaKaなど）」、トリプル・タンギングは「TTKTTK」と一般的には言うと思います。

「T」の音はいつもと同じ吹き方なので問題はないと思いますが、「K」の音は、タンギングのときに下が上顎の上の方に付く状態になっているので、はっきりと発音しにくくなってしまいます。

なので、ダブル・タンギングやトリプル・タンギングの練習をするときには、この「K」のときにはっきりと発音をする練習をやってみましょう。

もちろん、ゆっくりやったほうがわかりやすいので、ゆっくりはっきりとした音が出るように舌を動かしてみてくださいね。：)

編集後記

気分よく、ムリをしないでいい感じにリハビリ期間を過ごしてきて現場復帰をしたのですが、やっぱり現場は自分中心でやる練習（リハビリ）とは全く違いますね。

復帰後最初のリハーサルは、うちのオーケストラに初めて来る若手の指揮者さんで、みっちりなりハーサルとなりました。
なかなかハードだったのですが、乗り越えてみると、ある種の自信にもなったのだなあ、と思いました。

復帰後いきなり長距離移動や泊まりのあるコンサートが続いてハードでしたが、なんとかそれをも乗り越えることができ、今は第2波のハードスケジュールの真ん中にいます（笑）。

明日のコンサートが終わると一息つけるので、あともう少し、集中を切らさないで過ごしていこうと思っています。

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト
<http://www.pepeabe.com>
ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！
info@pepeabe.com

©阿部竜之介 『Pepeの視点』
のバックナンバー、配信停止はこちら
<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>